

長久手市行政評価票

事業番号	5	事業の名称	協働まちづくり事業	担当部署	部	課
					企画部	市民協働課

事業の目的・概要	(目的) 長久手市地域協働計画において、まちづくり活動・交流拠点施設としてのまちづくりセンターの機能の充実が挙げられています。 (概要) 同センターの機能を充実・強化することにより、住民活動がしやすい環境を整えて、住民活動の活性化を図るとともに、新たに活動を始めようとする人にも活動がスムーズに行えるよう様々なサポートを行うことを目的としています。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市 市民参加及び市民自治活動条例 豊明市 協働推進委員会 東郷町 町民活動団体まちづくり協働事業(NPO公募提案型事業)
----------	---	------------------------------------	---

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-									
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民活動に興味のある、又は市民活動中の市内の住民												
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民活動に興味のある市民は、興味のある状態から活動するように、活動中の市民は更なる意欲を持ち、スムーズな活動ができるような状態としたい												
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	13	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
					うち	一般財源	2,282	1,767	2,023	1,927			1,100
						国費・県費	2,282	1,767	2,023	1,927			1,100
						地方債	0	0	0	0			0
						受益者負担額	0	0	0	0			0

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)				評価			
		4月~7月~10月~1月~							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H24目標値				H25予算				成果 事業費		
① ステップアップ講座	市民活動を実施している市内の住民	● →				協働に必要な知識を学び、協働を担う人材が育成される	講座 3回	講座参加者数	-	18	人	募集人数	282	272	1,023	1,023	B	連続講座により、市民団体同士のつながりが生まれ、行政と市民団体の中間支援を行う流れが出来た。今後は、この流れが大きくなるような講座、助成を行いたい。	
② スタートアップ講座	市民活動に興味のある市内の住民	● →				地域活動に取り組む人材が発掘され、グループ作りのきっかけとなる	講座 3回	講座参加者数	-	16	人	募集人数	-	-	-	-	B	参加者への活動のきっかけづくりとしては、目的を達成できた。参加者が少なかったことについては、周知方法の検討が必要。また、長久手市が単独で行う講座のみならず、県内、名古屋市で開設されている多様な講座について、その参加助成・情報提供を模索したい。	
③ 市民・市役所 知りあい塾	市内の住民 市職員	● →				協働を実践するにあたり、市民側からの問題点等、また行政側からの課題項目等をお互いの立場を知り理解しながら、市民と行政がともに参画し、知恵を出しあう	会議6回 運営委員会6回	参加者数	-	市民11人 職員6人	人	募集人数	-	-	-	-	D	市民と市役所職員がお互いの立場を知り合い、対等な立場で協働の課題について話し合い、新たな仕組みのアイデア出し合った。	
④ 協働まちづくり事業活動助成金	市民活動を実施するにあたり、運営資金	● →				市民のまちづくり活動を支援し、その成長と自立を促す	応募13件 採用12件	応募数/採用数	17/14	13/12	団体	予算要求数	2,000	1,495	1,000	904	B	団体の活動の助成において、人材の育成にも目を向け、団体の自己啓発についても助成の対象としたい。	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① ステップアップ講座	来年度は講座は開催しないが、この講座受講者の有志が講座内で作成にとりかかった「活動マップ」の作製等を引き継ぐ自主活動団体を立ちあげた。今後は、市民協働課の実施する事業との協働を通して団体活動を発展させていくよう見守りながら適切な支援を行う。		協働ルールブック実践編策定委員会	協働の実践に向けて協働ルールブック(実践編)策定委員会を設置し、策定に向けた取り組みを行う。
② スタートアップ講座	来年度は講座は開催しないが、この講座受講者が活動を始めるための手段及び資金等(協働まちづくり事業活動助成金等)の相談に対応しながら、活動を見守りながら適切な支援を行う。	まちセン企画運営員	まちづくりセンターの運営面の機能充実のため設置する。		
③ 市民・市役所 知りあい塾	市役所側は、知りあい塾において協議したことをまとめた報告書をもとに、提案のあった仕組みを優先順位をつける等してひとつづつ委員会等で具体的にしていく。また、市民側は自主的に実施する「小さな勉強会」を通して地域課題等について取組を考えていく機会をつくる予定である。				
④ 協働まちづくり事業活動助成金	H24年度の事業報告会は、指定した団体が報告をしていたが、H25年度は助成を受けた全ての団体から報告してもらい、その後助成団体と参加者との意見交流会を開催する。				